

# 滑川市スポーツ・健康の森公園 整備基本計画（案）



平成23年 月

滑川市



## 【 目 次 】

### 第Ⅰ章 計画の前提

I-1 計画の目的	1
I-2 計画対象地の位置及び区域	2
I-3 上位計画からの位置づけ	3
I-4 計画のフロー	4

### 第Ⅱ章 計画条件の整理

II-1 上位関連計画（基本構想）	5
II-2 敷地条件	6
II-3 計画課題の整理	7

### 第Ⅲ章 計画の基本的な考え方

III-1 計画の基本的な方向づけ	9
III-2 計画のテーマとコンセプト	10
III-3 計画の整備方針	11
III-4 導入施設の検討	13

### 第Ⅳ章 計画の策定

IV-1 公園の空間構成	20
IV-2 ゾーニングと動線計画	21
IV-3 ゾーン別主要施設計画	23
IV-4 防災拠点としての公園計画	28
IV-5 整備計画の検討（工程計画及び概算事業費）	29
IV-6 施設の維持管理について	30

# 第Ⅰ章 計画の前提

## I-1 計画の目的

現在、社会情勢の変化に伴い、余暇時間の増加やライフスタイルの多様化、さらには高齢社会での健康志向の高まりなどにより、スポーツ・レクリエーションへの参加や関心が増加している。

本市では「第3次滑川市総合計画(計画期間:平成13年度～22年度)」において、市民ひとり1スポーツを推奨し、少子高齢社会に対応した生涯の各時期に応じて楽しめるスポーツ・レクリエーションの振興を図るとしている。しかし、施設・拠点の整備となると総合運動公園が未整備で、単一種目の施設が市内に点在し利用者にとって不便な面が未だにあるのが現状である。

そこで、市民が集い多種目のスポーツ・レクリエーション活動が気軽にできる施設の整備が課題となっている。

「第4次滑川市総合計画(計画期間:平成23年度～32年度)」では、総合体育センター周辺の未利用地に、幼児から高齢者までが健康及び体力づくりができるような滑川市スポーツ・健康の森公園を整備することとしている。

このことから、乳幼児から高齢者まで、市民のだれもが世代を超えて、それぞれの年齢、体力、目的などに応じて、いつでも自由にスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりや体力づくりのできる施設として「滑川市スポーツ・健康の森公園」を整備する。整備に際しては、できるだけ広く市民の皆さんのボランティアによる手づくりで行うこととする。

これにより、市民が元気で生活し、しかもできるだけ健康寿命を伸ばすこととなり、最終的には、市民医療費や介護保険料の節減を目指すものとなる。

## I-2 整備事業区域の位置及び区域

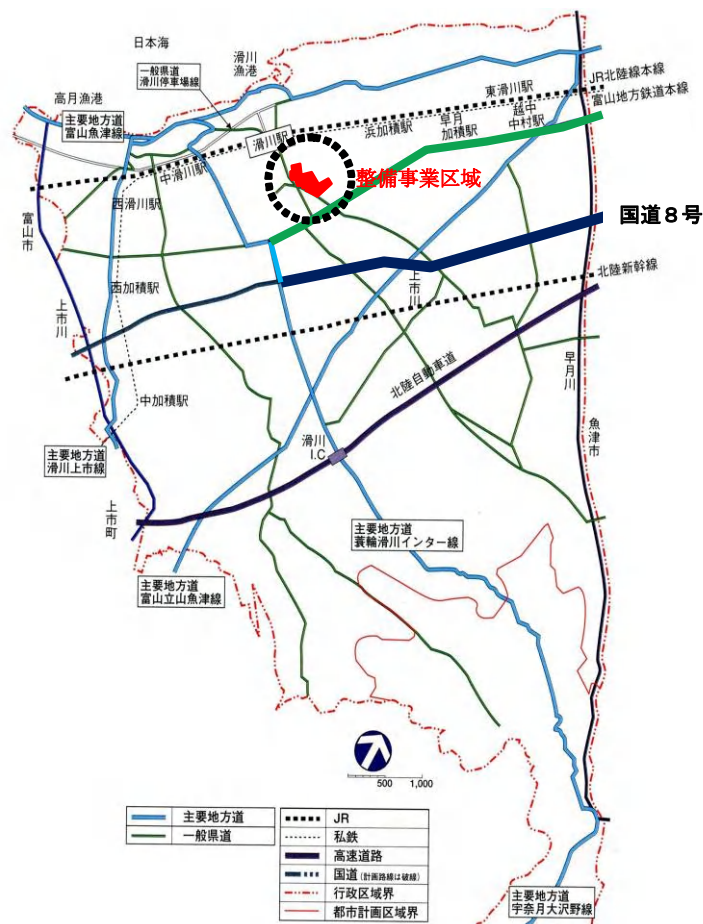
計画地の所在は、滑川市柳原地内で、JR滑川駅東側約800メートルに位置し、隣接して滑川市総合体育センター、滑川室内温水プールなどの屋内体育施設が建設されている。なお、区域は、住宅地が混在した水田地帯にあり、平坦な地勢を示す。

当該区域は、東側は都市計画道路下島中野島線に隣接し、南側は一般県道古鹿熊滑川線、西側は市道駅南環状線に囲まれたエリアとなっている。

また、区域内に、滑川駅南区画整理事業により設定した1.3haの近隣公園用地が未施行地となっていることから、この土地を含め旧東海カーボン跡地一帯を滑川市スポーツ・健康の森公園の整備エリアとする。

このことから、事業区域の設定については、滑川市総合体育センター、滑川室内温水プールなどを含む旧東海カーボン跡地の市有地約15ヘクタールのうち未利用地部分約8ヘクタールを整備事業区域とする。

■ 滑川市スポーツ・健康の森公園位置図



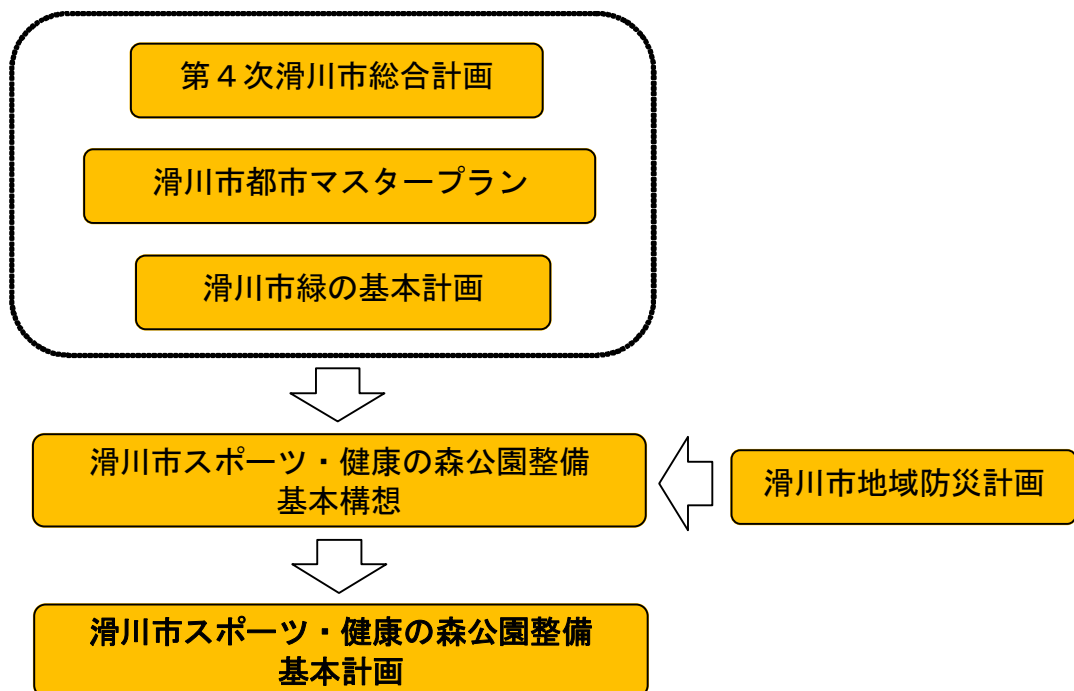
### I-3 上位計画からの位置づけ

本公園の計画は、「第4次滑川市総合計画(平成23年度)」、都市計画法に基づく「滑川市都市計画マスタープラン(平成13年度)」、都市緑地法に基づく「滑川市緑の基本計画(平成10年度)」などとの整合性を図り、「滑川市スポーツ・健康の森公園」の基本的な方向性を定めるものである。

本計画では、下記の項目を与条件とし、具体的な整備方針を検討していくものとする。

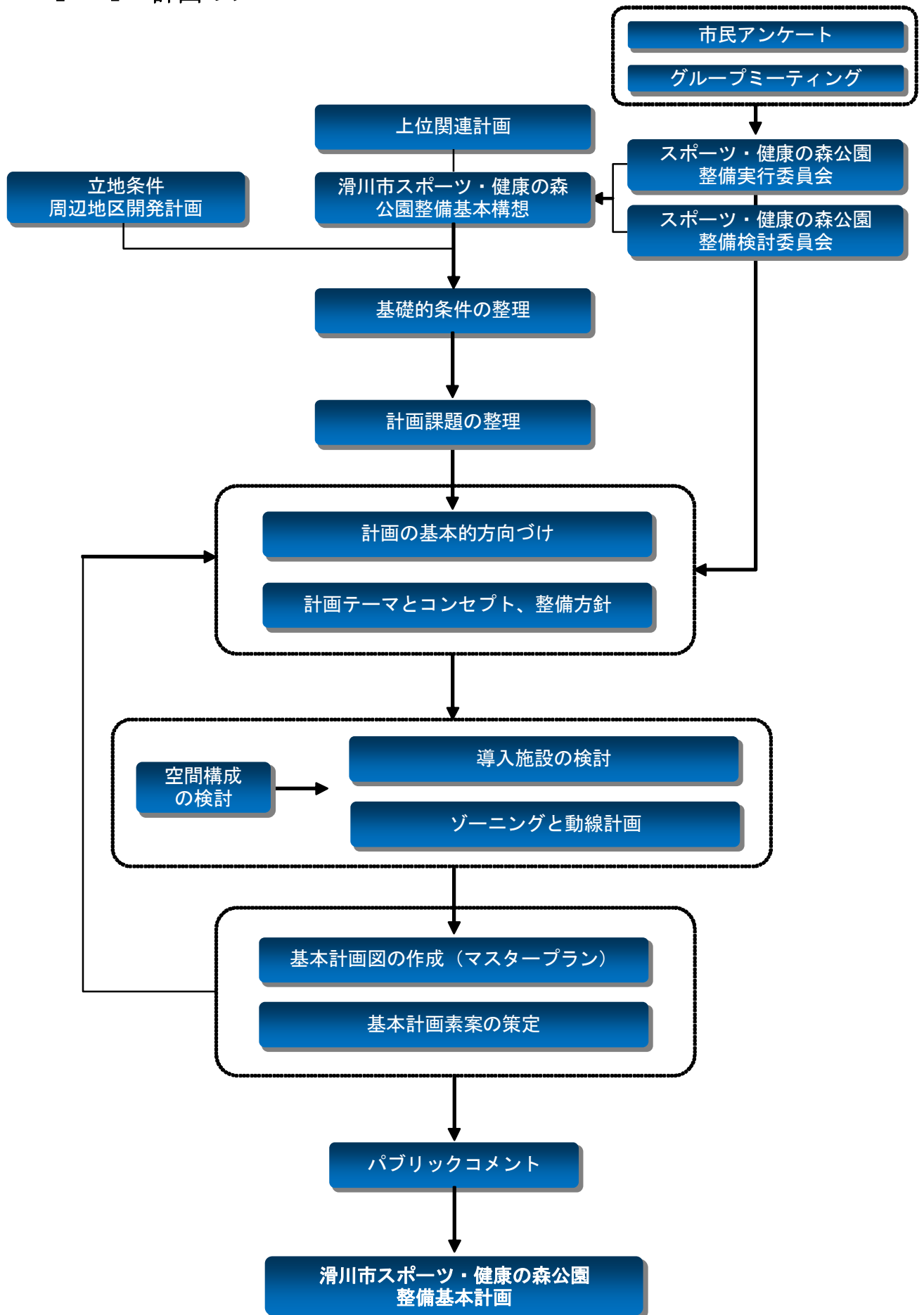
- 1) 本公園は、生涯にわたってのスポーツがオールラウンドにできる施設を目指し整備する。
- 2) 本公園は、幼児から高齢者まで幅広く市民がスポーツを楽しめる施設や樹木の中をランニング及び散策ができる森を整備する。
- 3) 本公園は、既設の滑川市総合体育センター、滑川室内温水プールなどの屋内体育施設と隣接していることから、これらとの関連性を重視し、連携のとれた市内スポーツの拠点となるよう整備する。
- 4) 市内に不足する競技施設及び芝生の広場を中心に整備する。
- 5) 広域避難地としての機能を有するとともに、賑わいを創出する広域交流空間としての「総合公園」となるよう整備する。
- 6) 緑にあふれ、やすらぎや癒しを感じられる空間として整備する。

#### ■整備にかかる計画体系



出典：滑川市スポーツ・健康の森公園整備基本構想

# I-4 計画のフロー



## 第Ⅱ章 計画条件の整理

### Ⅱ－1 上位関連計画（基本構想）

本計画は、平成22年度策定の「滑川市スポーツ・健康の森公園整備基本構想」に基づくものであり、計画の基本的考え方としては、この構想を土台にしてその具体化を検討する。基本構想の概要は、以下のとおりである。

#### 1 公園の位置づけ

##### 1) アウトドアスポーツの総合拠点となる公園

幼児から高齢者まで、市民の誰もが世代を超えて、それぞれの年齢、体力、目的に応じた多種目のスポーツ・レクリエーション活動が気軽にできる公園として整備する。

##### 2) 公園緑地機能を備えた公園

地域の新たな公園緑地空間としての機能を発揮できるよう、滑川市に自生する樹木や草花を主体とするふるさとの森を整備するとともに、憩いの場・集いの場となるような公園として整備する。

##### 3) 広域避難地としての公園整備

公園に隣接する公共施設の防災機能と連携して、災害時における広域避難地の機能を有する施設として整備する。

#### 2 公園整備の基本方針

##### 1) アウトドアスポーツの総合拠点となる公園整備

##### 2) 公園緑地機能を備えた公園整備

##### 3) 景観・環境に配慮した公園整備

##### 4) 防災機能を備えた公園整備

#### 3 公園を構成する施設要素

公園を構成する施設要素		基本方針			
		(1)	(2)	(3)	(4)
		アウトドアスポーツの総合拠点となる公園整備	公園緑地機能を備えた公園整備	景観・環境に配慮した公園整備	防災機能を備えた公園整備
1 運動施設	陸上トラック 多目的広場 長寿いきいき広場 子どもげんき広場	○	○	○	○
2 休憩施設	クラブハウス	○		○	○
3 広場	エントランス広場			○	○
4 駐車場	駐車場				○
5 園路	散策路 ランニング・ ウォーキング走路	○	○		○
6 緑地	ふるさとの森		○	○	○

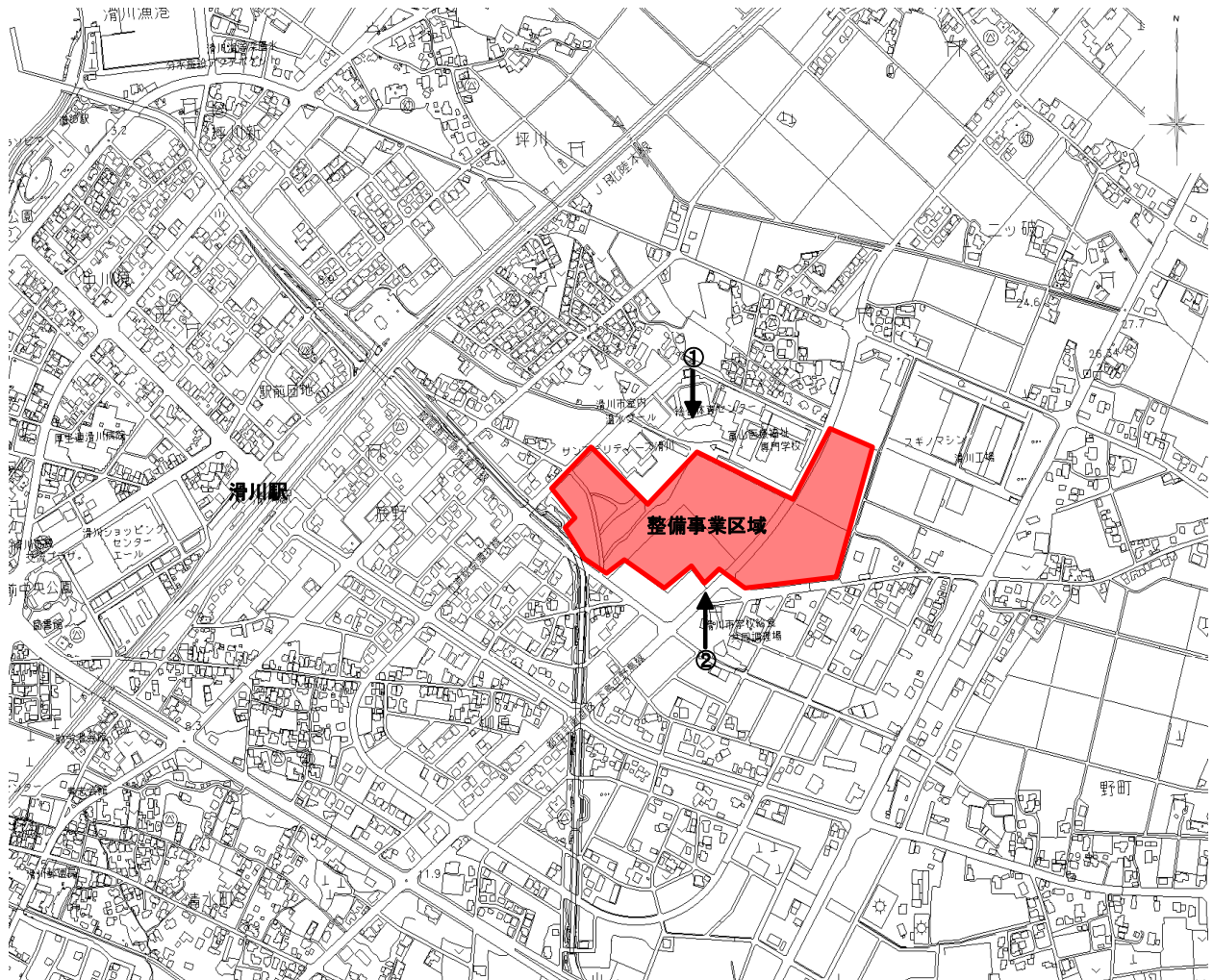


## Ⅱ－２ 敷地条件

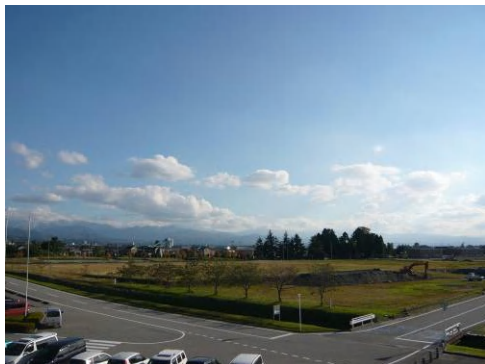
整備事業区域は、JR滑川駅東側約800メートルに位置し、隣接して滑川市総合体育センター、滑川室内温水プールなどの屋内体育施設が建設されている。なお、区域は、工場跡地であることから平坦な地形である。また、隣接する周辺道路からの高低差は0から3m程度であり、その地盤は2段に分かれた地形となっている。

さらに、東側は都市計画道路下島中野島線に隣接し、南側は一般県道古鹿熊滑川線、西側は市道駅南環状線に囲まれたエリアとなっている。

### ■ 整備事業区域の現況位置図



①滑川市総合体育センターから南を望む



②下島中野島線から北を望む



## II-3 計画課題の整理

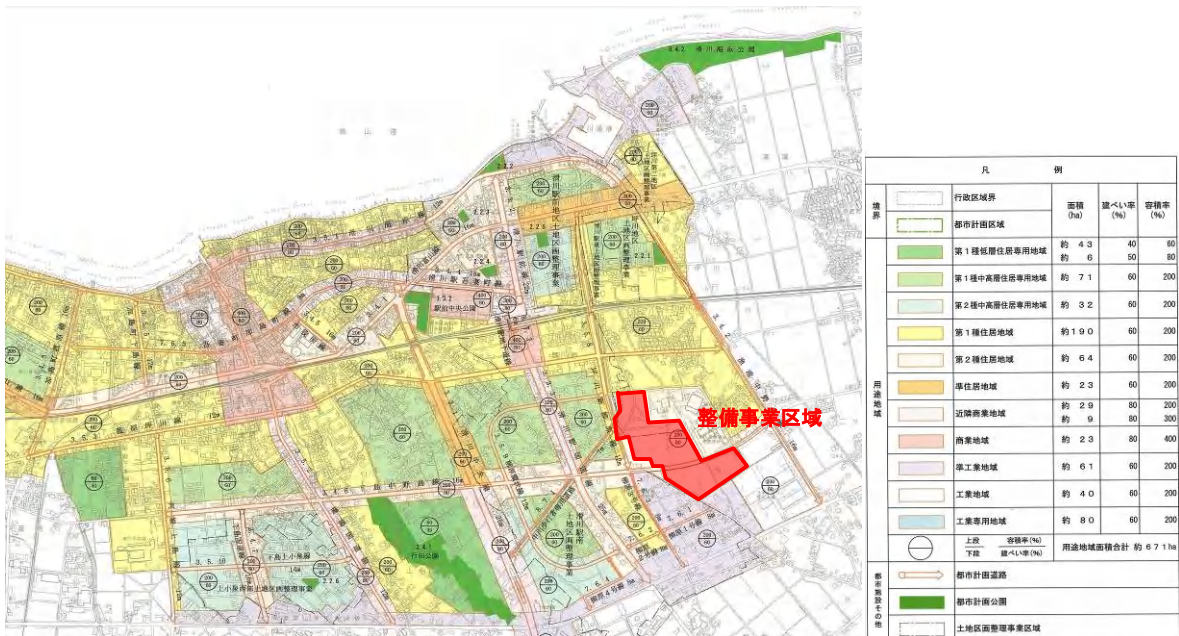
本公園の計画策定にあたっての課題は、以下のようにまとめられる。

### 1 基本構想の考え方

#### 1) 立地規制上の課題

整備事業区域は、昭和57年に東海カーボンから市が用地を取得している。しかしながら、現在に至るまで土地利用の整備計画が策定されていないのが現状である。また、整備区域には滑川市総合体育センター等の室内体育施設や富山医療福祉専門学校があることから、これらと一体となった整備が必要である。なお、この区域は、都市計画による用途地域指定は第2種住居地域に指定され、滑川市緑の基本計画においては、都市公園種類では住区基幹公園の近隣公園に位置づけられている。

#### ■ 滑川市スポーツ・健康の森公園整備事業区域



#### 2) 地形上の課題（周辺道路との高低差）

整備事業区域は、隣接する周辺道路より高低差は0から3m程度であり、その地盤は、北側に2段に傾斜した地形をしている。こうした地形での公園整備に際しては、道路との取り付けや雨水排水処理に留意する必要がある。

都市計画道下島中野島線



市道駅南環状線



### 3) 住環境への課題（近隣施設・住宅地への影響）

整備事業区域は、滑川市総合体育センター、サン・アビリティーズ滑川、滑川室内温水プール及び富山医療福祉専門学校と隣接し、また、南西側の住宅地にも近距離にあることから規模の大きな大会や行事等の開催時には、交通等の規制や誘導に配慮が必要である。

### 4) 自然環境への課題

整備事業区域は、文教施設及び体育施設に隣接していることや、市街地での緑地の創出及び緑化の推進の観点から市民の憩いの場としての森を作ること为目标としており、公園の整備にあたっては、自然環境に配慮が必要である。

### 5) 公共交通上の課題

整備事業区域の西側800mには北陸本線JR滑川駅と富山地方鉄道の滑川駅がある。現在、滑川市コミュニティバス[のる my car]の運行ルートが滑川市総合体育センター前であるため、ルート変更を検討することや駅から整備事業区域に直接アクセスするなど、公園整備にあわせた公共交通の導入を検討する必要がある。

## ■ 滑川市コミュニティバス運行ルート



## 第三章 整備計画の基本的な考え方

### Ⅲ－1 計画の基本的な方向づけ

基本構想における4つの基本方針を具体的な形あるものにするために、各方針に対する基本的方向付けを以下のように設定する。

#### 1 アウトドアスポーツの総合拠点となる公園整備

(基本構想施設：陸上競技トラック、多目的広場、長寿いきいき広場、子どもげんき広場、クラブハウス、ランニング・ウォーキング走路)

- 1) 陸上競技、サッカー競技など市民の誰もがスポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康づくりや体力づくりのできる施設を整備する。
- 2) イベント活動や各種スポーツ・レクリエーション教室の企画・開催などの実施により、年齢や性別、スポーツ経験の有無にとらわれない、市民の日常的なスポーツ活動の促進を図る施設を整備する。
- 3) 子どもたちの遊び場づくりや高齢者の「体力を落とさないための運動施設」の整備を図り、少子高齢社会に対応した公園を整備する。
- 4) ランニング・ウォーキング走路を設けるとともに、サーキットトレーニングが行える場を提供し、特にスポーツ選手のための総合体力（筋力アップ）づくりに適した施設を整備する。
- 5) 施設整備においては、高齢者、子ども、障がい者など、誰もが安全・安心に利用できるとともに、バリアフリーを取り入れて整備する。

#### 2 公園緑地機能を備えた公園整備

(基本構想施設：園路、緑地広場、ふるさとの森)

地域の新たな公園緑地空間としての機能を発揮できるよう、市民が楽しく余暇を過ごすことができる緑地広場や、緑あふれる森の中を散策できるように地域植生の再生を目指したふるさとの森を整備する。

#### 3 景観・環境に配慮した公園整備

(基本構想施設：クラブハウス、四阿、パーゴラ、トイレ)

公園施設や建築物等については、魅力的で個性的な景観に配慮した施設とする。また、給排水施設についても、環境の保全、自然との共生など環境に配慮して

整備する。

#### 4 防災機能を備えた公園整備

(基本構想施設：運動施設、緑地広場、クラブハウス、駐車場)

災害発生時における広域避難場所としての機能を有する施設整備をおこなうとともに、駐車場等はヘリポート基地となるよう整備する。

### Ⅲ-2 計画のテーマとコンセプト

滑川市スポーツ・健康の森公園基本計画の方向づけは、市内の至る所から誰もが利用できる公園を目指すとともに、市民大会等を開催できる施設が少ない現状を踏まえ、多様な市民ニーズに対応することや市民のスポーツを通じた体力・健康づくりを目的として、年齢や性別、スポーツ経験の有無にとらわれない、様々な利用者が気軽に利用できる場を提供する公園づくりを基本とする。

また、環境の保全及び自然との共生にも配慮するとともに乳幼児から高齢者まで、市民のだれもが世代を超えて、それぞれの年齢、体力、目的などに応じて、いつでも自由にスポーツ・レクリエーションに親しみ、健康づくりや体力づくりのできる施設として整備する。なお、整備に際しては、できるだけ広く市民の皆さんのボランティアによる手づくりで行うこととする。

#### <計画テーマ>

- ・スポーツ・レクリエーションを通じた夢・健康づくり
- ・賑わいを創出する交流の場づくり
- ・市全体及び地域振興に寄与するアウトドアスポーツの総合拠点づくり  
によって、多様な人々が集い、楽しみ、学び合う、生き生きとした元気で健康なまちを育む

#### <基本コンセプト>

**みんなで手づくり 健康と体力を育むスポーツ・健康の森公園**

滑川市スポーツ・健康の森公園は、アウトドアスポーツの総合拠点は無論のこと、市民が健康で元気に生活し、しかもできるだけ健康寿命を伸ばし、生き生きとしたまちづくりの一助とする。また、整備に際しては、できるだけ広く市民のボランティアによる手づくりで行うこととする。

### Ⅲ－３ 計画の整備方針

本公園は、基本構想でその基本的考え方を４つの基本方針で示している。本計画では、前項でこの基本方針を「計画の基本的方向づけ」として展開した。

本項では基本コンセプト「みんなで手づくり 健康と体力を育むスポーツ・健康の森公園」に基づき、以下の整備方針を設定する。

#### １ 多目的広場の整備

都市緑地である日ノ坪公園と一体となる児童用サッカー練習場を基本とした多目的広場や、乳幼児から高齢者まで幅広い年代の方々に活用できる子どもげんき広場、長寿いきいき広場の整備を行う。また、ランニング及びウォーキングが楽しめる走路の整備、夜間利用するための施設照明の設置を検討する。

#### ２ 運動施設の整備

陸上競技、サッカー等を主体とした競技場の整備、ランニング及びウォーキングが楽しめる走路、スポーツ選手の総合体力づくりのサーキットトレーニング場などアウトドアスポーツの総合拠点となる施設の整備を行う。

また、陸上競技トラック周辺には、市民の誰もが楽しく余暇を過ごすことができる芝生広場を整備するとともに、都市部に不足する緑地空間を創出するため、地域の自生樹木や薬のまち滑川をアピールするための薬木・薬草の植栽を行い、季節の移り変わりが感じられる草花のある小路を配置したふるさとの森を整備する。なお、植樹及び草花等の植え付けは、広く市民ボランティア等により行うようにする。

#### ３ 駐車場の整備

公園利用者の利便性を考慮し、駐車場は、園内に３か所程度設けるものとする。なお、配置については、都市計画道路下島中野島線東南に隣接する２．９haの敷地に鋤川を挟んで、２か所に各種大会及びイベント等に対応できる規模の駐車場を整備する。また、災害時の避難地やヘリポート等に活用する。なお、駐車場の外周には、ランニング・ウォーキング走路も整備する。この他には高齢者等に配慮し、長寿いきいき広場に隣接して駐車場を設ける。

#### 4 管理・休憩及び便益施設等の整備

園内には、運動施設の利用に応じた管理施設（クラブハウス、門、柵、照明施設等）・休憩施設（四阿、パーゴラ、ベンチ等）・便益施設（便所、水飲み場、手洗い場等）・修景施設（植栽、芝生、花壇、生垣、築山等）等を設けるとともに、バリアフリーに対応した、高齢者、子ども、障がい者など、誰もが安全・安心に利用できる施設を整備する。

#### 5 防災機能を備えた公園整備

本区域は、滑川市地域防災計画において、広域避難地として位置づけられていることから近年多発する地震や津波等の自然災害や火災等の発生に対し、避難地としての機能を備えた公園として整備する。

- 1) 運動施設及び緑地等は、園内で最も広い空間を確保できることから、救援活動のベースキャンプ地として位置づけ、活動部隊の駐留拠点となる。
- 2) 駐車場は、防災活動支援スペース、物資等の輸送集配スペース及びヘリポートとなる。
- 3) クラブハウスは、耐震性の高い施設づくりとし、隣接する滑川市総合体育センター等と連携できるものとする。

### Ⅲ－４ 導入施設の検討

本公園の主要導入施設は、基本構想で提案した公園を構成する施設要素に基づき、その具体的なイメージ規模、位置、仕様を検討しながら以下のように設定する。

また、導入施設の検討にあたっては、市民意識調査やスポーツ・教育・福祉・保険医療・ボランティア・有識者等の代表により組織された実行委員会や、スポーツに直接かかわる団体等のグループミーティングからの意見を参考に、本公園に望まれる施設導入を検討する。

#### 1 要望・意見聴取

##### (1) スポーツ・健康の森公園における市民スポーツ意識調査（結果）

調査期間：平成22年10月1日(金)～10月20日(水)

調査対象：市内全地域の18歳～19歳(20歳未満)、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代(前半、後半)、70歳代(前半、後半)の7区分とし、500名を無作為抽出した。

調査方法：郵送にて配布、回収

##### 1) 設備について

###### (運動施設)

- ・ウォーキングコース
- ・ランニングコース
- ・散歩コース
- ・クロスカントリーコース
- ・サイクリングコース
- ・ドッグラン
- ・サッカー
- ・総合運動場
- ・パークゴルフ
- ・アスレチック(クライミング、アスレチックジム等)
- ・スケートボード(ハーフパイプ等)
- ・テニスコート
- ・リハビリコース

###### (その他の施設)

- ・クラブハウス(シャワールーム、サウナ、風呂、更衣室、食堂、カフェ)
- ・照明施設
- ・防犯カメラ
- ・診療所
- ・トイレ
- ・駐車場

##### 2) ソフト面の設備

- ・スポーツボランティア団体の創設
- ・スポーツインストラクターの常駐
- ・スポーツ教室の開催
- ・各種大会の誘致(駅伝大会等)

##### 3) 利用方法について

- ① 料金について 低料金、低コスト、無料
- ② 利用時間 昼夜(早朝を含む)
- ③ 申請方法について 簡易な書類、インターネット登録、自由に申請



#### 4) その他

- 行けば自由に施設が使えるように
- 道具の貸し出しができるように
- 小中学生が積極的に使えるように
- スポーツ以外のイベントも開催できる
- 町部の人だけでなく、山間地の人も利用できるように周辺道路の整備も考える
- その場所を市民憩いの場とするならば、グループ等が造れる工夫も必要
- 冬場にクロスカントリースキーが楽しめるようにしてほしい

#### (2) 実行委員会での意見

##### 1) 施設整備について

- ・陸上競技は、全天候型で整備を
- ・遊具広場は、大きなスペースの確保を
- ・親子一緒になって運動できる場を
- ・周辺の公共施設との連携を考えた整備
- ・市内の既設公園との競合しない施設整備
- ・森づくりは、2世代、3世代を考えた計画で
- ・ボランティアが参加したくなるような計画づくり
- ・自然と関わる、触る、見る、匂いをかぐなど五感で感じるもの
- ・砂遊びや泥んこ遊びができる場
- ・限られた資金のなかでの整備となるのでゾーニングは慎重に
- ・トラックのインフィールドに樹木を植え木陰を作る

#### (3) グループミーティングでの意見

- ・陸上競技は、全天候型で整備を
- ・観客席や夜間照明の検討を
- ・運動施設の芝は人工芝の方が管理が容易ではないか
- ・バーベキュー施設の考えはないか
- ・柵等の設置は、どうするか
- ・築山の設置や高台を作る
- ・幼児・学童等が三輪車やキックボード等で遊べる広場
- ・管理棟・休憩室がある建物の建設
- ・公園施設に日よけ、雨よけ、アーケード等の設置
- ・夏場のスキートレーニング用の舗装された傾斜路



## 2 導入施設

### 1) 広場系

基本構想の施設要素は、運動緑地広場、エントランス広場、遊具広場、原っぱを主とする緑地である。

・運動施設ゾーンには、陸上競技トラックの中に多種目の運動ができるインフィールド緑地を確保するとともに、トラック外周には、利用者が自由に遊べる芝生主体の原っぱ広場を設ける。また、ゾーンの入り口には、エントランス機能を発揮できるとともに、各種イベント等に対応できるオープンスペースを確保する。

エントランス広場 イメージ



陸上競技トラック イメージ



原っぱ広場 イメージ



・多目的広場ゾーンには、児童用サッカー、ソフトボール、運動会等が可能な芝生広場を整備する。

芝生広場 イメージ



芝生広場 イメージ

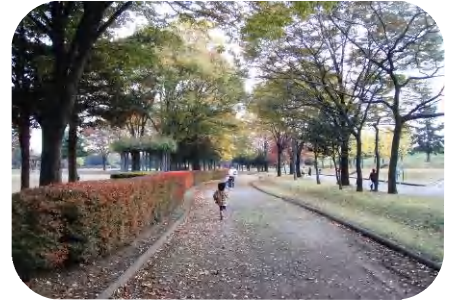


## 2) 園路系

・本公園の園路は、滑川市総合体育センターから連続して公園内への進入ができる主園路と、園内に整備する「ふるさとの森」の樹間を縫って移動する散策園路を整備する。

・「ふるさとの森」の中で整備する散策園路沿いの開けた空間には、コミュニティガーデンを配し、四季折々の草花を市民参加により植える。

主園路 イメージ



## 3 遊具、運動施設

本公園の導入施設を検討する上で欠かすことのできない要素は、遊びや運動系の施設を導入することである。また、遊具等については使用対象者区分により選定しなければならない。また、近年の健康志向から、健康運動施設の導入も要求が高い。本計画では、子どもたちが安全に遊べる場、及び高齢者の健康づくりの場となるような施設の導入を検討する。

・遊具のある遊び場（子どもげんき広場）については、子どもの年齢層によって遊び方が違い、遊具も対象年齢層に併せた形態・仕様が求められるため、計画では、大きく幼児用（スプリング、ムービング遊具）と子ども用（アスレチック、複合遊具）に分類して、それぞれが安全

に楽しめる遊び場空間を整備する。  
また、砂場やどろんこ遊び場  
及び築山も整備する。

遊具 イメージ



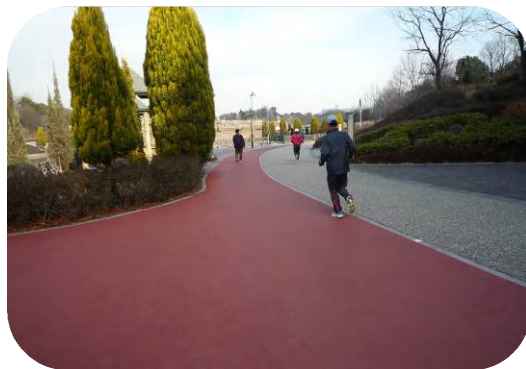
・健康運動施設（長寿いきいき広場）は、高年齢の利用者に視点を置き、運動不足の人や体力の維持・改善を必要とする人が、自分の体力水準に合わせ、楽しみながら運動習慣が身につく健康遊具を整備する。

健康遊具 イメージ



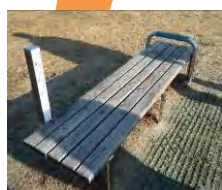
・園内外周部には、公園全体をめぐるランニング・ウォーキング走路を設け、利用者の健康及び体力の増進を図る施設を整備する。

ランニング・ウォーキング走路 イメージ



・陸上競技トラック周辺には、有酸素運動を主体におこなうサーキットトレーニング用器材（ジャンプ、懸垂、腹筋等）を設置する。

サーキットトレーニング用器材 イメージ



#### 4 防災施設

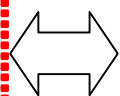
・本公園は、滑川市地域防災計画において広域避難地として位置づけられていることから、災害や火災等の発生に対し、避難地としての機能を補助する公園として以下の施設を主体に整備する。

##### 隣接公共施設

- ・滑川市総合体育センター
- ・サン・アビリティーズ滑川  
(研修室等)
- ・富山医療福祉専門学校

[既存防災施設：なし]

[防災機能：避難収容、救護、医療]



##### 滑川市スポーツ・健康の森公園

防災活動支援機能

物資の輸送、支援機能



1. 物資の集積スペース
2. 物資の搬入搬出・車両の駐車スペース
3. ベースキャンプスペース
4. ヘリポート
5. 救護活動センター→クラブハウス

防災活動 イメージ



本公園の各エリア別導入施設を下記に示す。

## 導入施設

### [運動施設エリア]

全天候型舗装 400mトラック（8レーン）、多目的インフィールド緑地、土の広場、エントランス広場、ランニング・ウォーキング走路、クラブハウス、倉庫、トイレ、休憩施設、修景施設（緑地等）

### [多目的広場エリア]

多目的広場（児童用サッカー、ソフトボール、運動会等）、ランニング・ウォーキング走路、長寿いきいき広場（健康遊具）、子どもげんき広場（遊具等）

### [ふるさとの森エリア]

地域在来種を基本に常緑樹・落葉樹の混合樹、薬木、薬草、草花、親水池等

### [駐車場エリア]

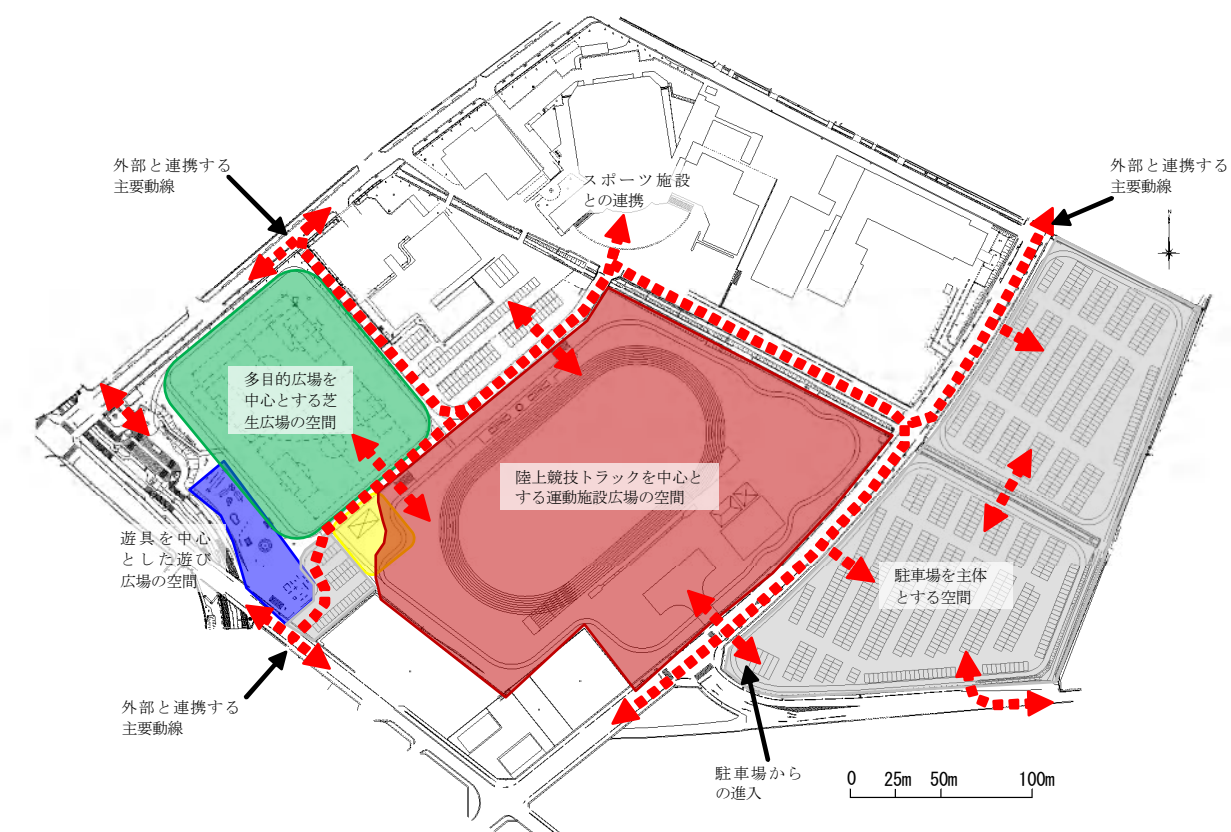
駐車場（ヘリポートに対応）、駐輪場、ランニング・ウォーキング走路、トイレ、休憩施設（四阿、パーゴラ、ベンチ等）修景施設（緑地等）

## 第IV章 整備計画の策定

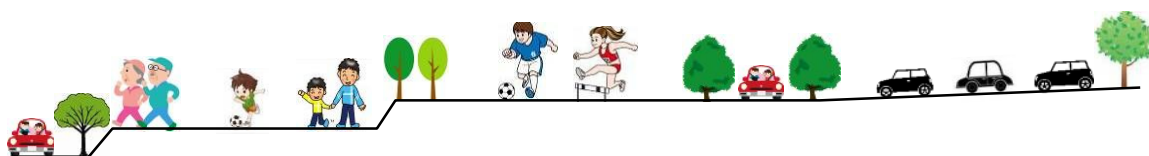
### IV-1 公園の空間構成

前項までの中で検討した5つの整備方針をもとに公園全体を形づくる上での空間構成要素とし、これを公園計画イメージ図に反映させるために、基本的な空間構成を以下の模式図に示す。

■空間構成模式図



断面イメージ図



## IV-2 ゾーニングと動線計画

### 1 ゾーニング計画

本公園は、4つのゾーン配置によって構成する。

#### 1) 多目的広場ゾーン

のぞみ川に隣接する日ノ坪公園東側約 16,000 m<sup>2</sup>の区域を多目的広場ゾーンとし、児童用サッカー、ソフトボール、運動会等が行える芝生広場を配置する。また、この広場の西側に高齢者の健康増進を目的に健康遊具を中心とする長寿いきいき広場、さらに、海側には幼児・児童等が楽しく遊べる遊具を主体とした子どもげんき広場を整備する。なお、この他に多目的広場外周にはランニング・ウォーキング走路等を配置する。

#### 2) 運動施設ゾーン

本公園の基幹となる陸上競技400mトラック（8レーン）を中心に、インフィールドには多目的に使える芝生緑地、また、トラック周りには健康遊具やサーキット器具を配置し、利用者を楽しませる。この他には、土の上で運動ができる広場やランニング・ウォーキング走路及び園内入り口にはこの公園の玄関となるエントランス広場を整備する。

#### 3) ふるさとの森ゾーン

多目的広場、遊具広場ゾーン及び運動施設ゾーンの外周を基本に100年先を見据えた森づくりを行う。樹木の選定については、地域に植生するものを基本とし、外来種等の樹木はできる限り避けるものとする。また、親水池や観察池を中心としたビオトープを整備する。なお、植栽にあたっては、市民ボランティアの協力を求めるものとし、手づくりの森をみんなで作るものとする。

#### 4) 駐車場ゾーン

都市計画道路下島中野島線東側の2.9haをこの公園の主となる駐車場とする。また、この公園利用のみならず、例年実施されるイベント・大会等の駐車場として、さらには災害時のヘリポート・物資の運搬基地としての機能も利用できるものとする。なお、駐車場の外周には、ランニング・ウォーキング走路を配置するとともに緑あふれる緑地帯も設ける。

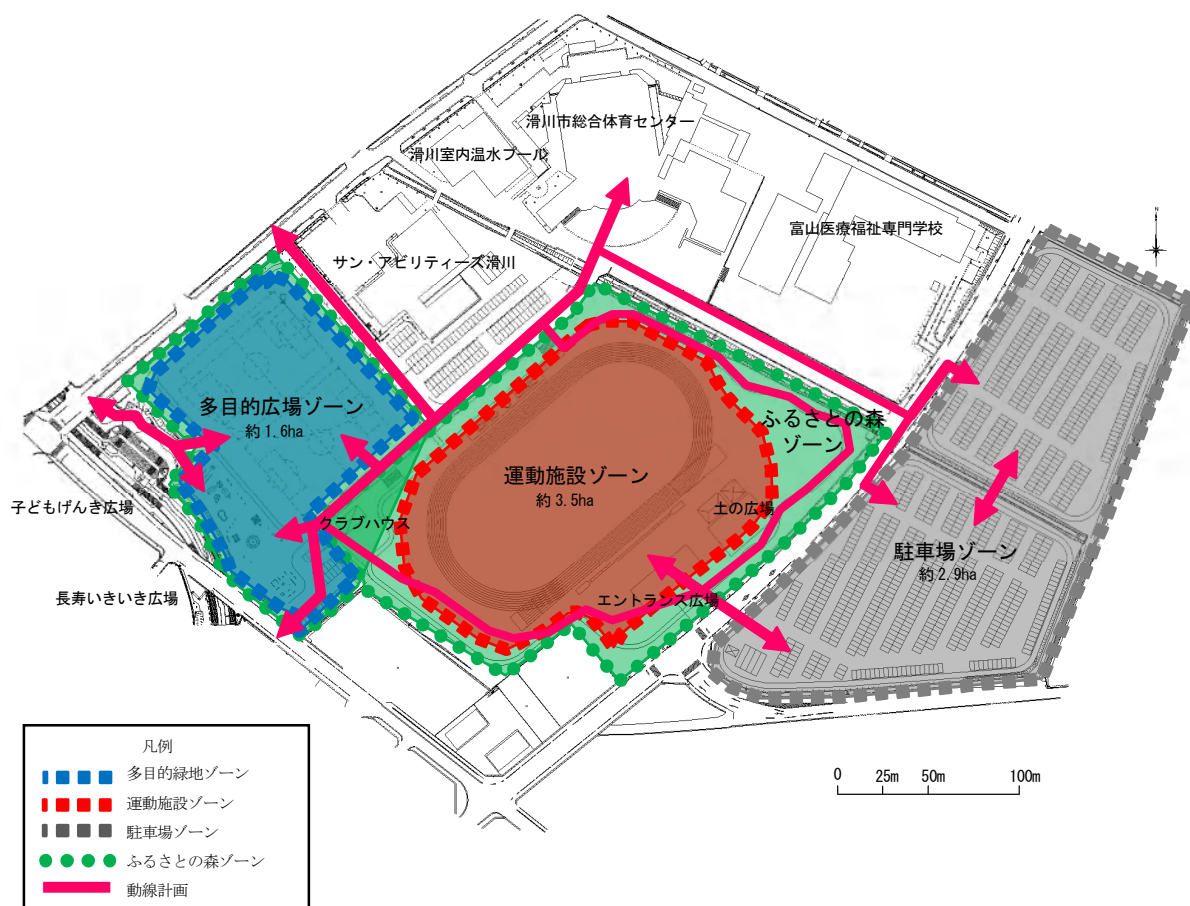


## 2 動線計画

本公園への入場等の動線システムは、以下の主要動線から構成する。

- 1) 本公園への入場は、都市計画道下島中野島線東側に整備する駐車場からが主となる。また、公園西側に整備する多目的広場・長寿いきいき広場及び子どもげんき広場へは、サン・アビリティーズ駐車場側と一般地方道古鹿熊滑川線に隣接して設ける駐車場からとする。
- 2) 園内の移動動線としては、ランニング・ウォーキング走路やふるさとの森の中に配置する遊歩道等により移動することとするが、芝地を通ることも可能である。なお、各ゾーンを結ぶ連絡施設としては、階段、スロープ等を各所に設置し、スムーズな移動ができるようにする。
- 3) 園内東側の駐車場からは、公園利用者の安全確保の観点から陸橋等も検討する。
- 4) 隣接する公共施設との一体的な利用を考えると、総合体育センター等からの接続園路を整備する。
- 5) 本公園利用者の利便性を考慮し、適所に施設案内板等を設置する。

### ■ゾーニング・動線計画



## IV-3 ゾーン別主要施設計画

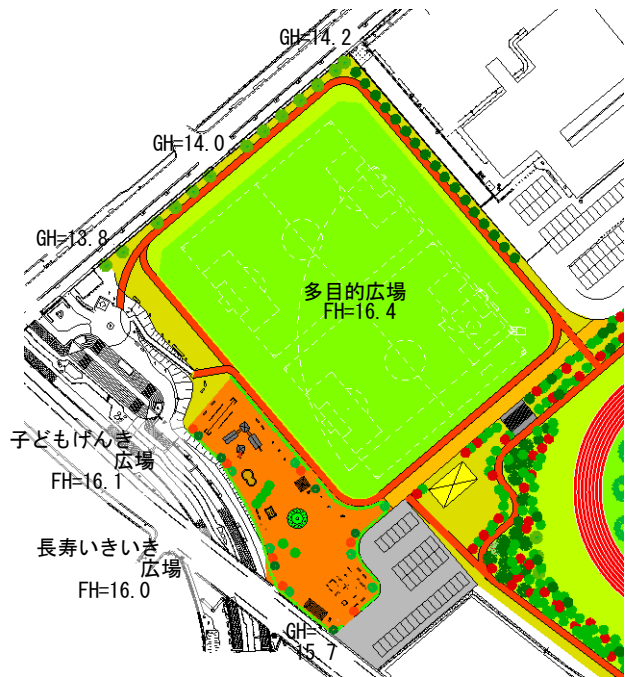
### 1 多目的広場ゾーン

#### 1) 基盤整備計画

多目的広場ゾーンは、隣接する市道駅南環状線から標高的に約2.4m高い段差があるが、ゾーン全体はフラットな地盤であり、南側部分では一般地方道古鹿熊滑川線及びサン・アビリティーズ滑川駐車場側とは同一標高である。また、このゾーンの施設計画の高さは、現在の地盤の上に整備するものであり、掘削等の作業量は少ない。

本ゾーンにおける雨水排水については、芝生の広場、土の広場が大半を占めるため、地下浸透と表面排水処理が考えられる。まず、地下浸透による排水の処理方法として暗渠排水による方法が考えられる。次に表面排水処理については、広場外周に排水側溝を配し処理する。なお、流出速度については、アスファルト舗装等から比較するとかなり遅くなると考えられる。

ゾーン内に雑木及びアスファルト舗装路が存在するため、整地前に処分する必要がある。



#### 2) 主要施設配置計画

多目的広場ゾーンは、約1.6haの中に多目的広場、長寿いきいき広場、子どもげんき広場、ランニング・ウォーキング走路等を配置する。

- ・多目的広場 ⇒ 面積約 10,000 m<sup>2</sup>の芝生緑地
- ・長寿いきいき広場 ⇒ 面積約 1,000 m<sup>2</sup>の中に高齢者の体力維持のための健康遊具を設置する。
- ・子どもげんき広場 ⇒ 面積約 1,500 m<sup>2</sup>の中に幼児、児童及び生徒を対象とした各種遊具の設置や砂遊び、どろんこ遊びができる場所を設ける。
- ・ランニング走路 ⇒ 延長約 400mのランニング・ウォーキングコースを兼ねた走路を設ける。(膝、腰、足首等体にやさしい構造)
- ・休憩施設 ⇒ 東屋2か所、ベンチ15基を配置する。

- ・照明施設 ⇒ ゾーン要所に街灯を設置し、施設照明等についても検討する。
- ・便益施設 ⇒ 駐車場（40台）、水飲み器3基を設置する。

### 3) 修景計画

多目的広場及び遊具設置広場の外周には、将来高木となる樹木（クヌギ、コナラ、ヤマハンノキ、クリ、シラカシ、ヤマボウシ等）を植栽し、風等の影響を防ぐような配置をおこなう。また、部分的に中低木や花木等も配置する。

## 2 運動施設ゾーン

### 1) 基盤整備計画

- ・このゾーンの標高は、多目的広場ゾーンより約2.4m高く、面積は約3.5haである。全体的に地盤は、平坦であるが区域の約1/3にあたる南西側は、平均で1m程度低い地盤であり、盛土の必要がある。また、このゾーンの主要施設である陸上競技トラックの部分については、路床土の置き換えが必要である。
- ・本ゾーンにおける主要施設である陸上競技トラック及びインフィールド芝生広場について、雨水排水計画には規模・構造等の検討する。また、面積的にも広い場所であるため、ゾーン全体を考えた排水計画が必要である。
- ・西側の多目的広場ゾーンとの境界の段差部（H=2.4m）は、法面緑化及び緑化ウォール等により景観に配慮した整備が必要である。



## 2) 主要施設配置計画

運動施設ゾーンは、面積約3.5haの中に陸上競技トラック、インフィールド緑地広場、エントランス広場、土の広場、ランニング・ウォーキング走路、自由緑地等を配置する。

- ・陸上競技トラック ⇒ 走路距離400m、8レーンの全天候型
- ・インフィールド緑地広場 ⇒ 陸上競技トラック内側インフィールドを芝生化し、多目的運動広場を整備する。
- ・エントランス広場 ⇒ 公園入り口として、利用者が集まる空間を確保するとともに、広場には、ランドマークとなるモニュメントの配置やイベント会場として利用できるようカラー舗装により明るい雰囲気を作る。また、安全・安心を基本に歩道と一体となるレベル設定をする。
- ・ランニング走路 ⇒ 延長約700mのランニング・ウォーキングコースを兼ねた走路を設ける。(膝、腰、足首等体にやさしい構造) また、走路周りには、サーキットトレーニング用の器具(平行棒、腹筋ベンチ、平均台、懸垂鉄棒、垂直とび、丸太跳び等)を設置する。
- ・管理施設 ⇒ 多目的広場ゾーンと運動施設ゾーンの両方から利用できるクラブハウス(約150㎡)を新設する。また、ゾーン内適所に倉庫、器具庫等も設置する。なお、ゾーン外周は安全柵等を設置するとともに、ゾーン要所に街灯を設置する。
- ・休憩施設 ⇒ 東屋2ヶ所、パーゴラ2箇所、ベンチ30基を配置する。
- ・便益施設 ⇒ トイレ2ヶ所、水飲み器3基を設置する。

## 3) 修景計画

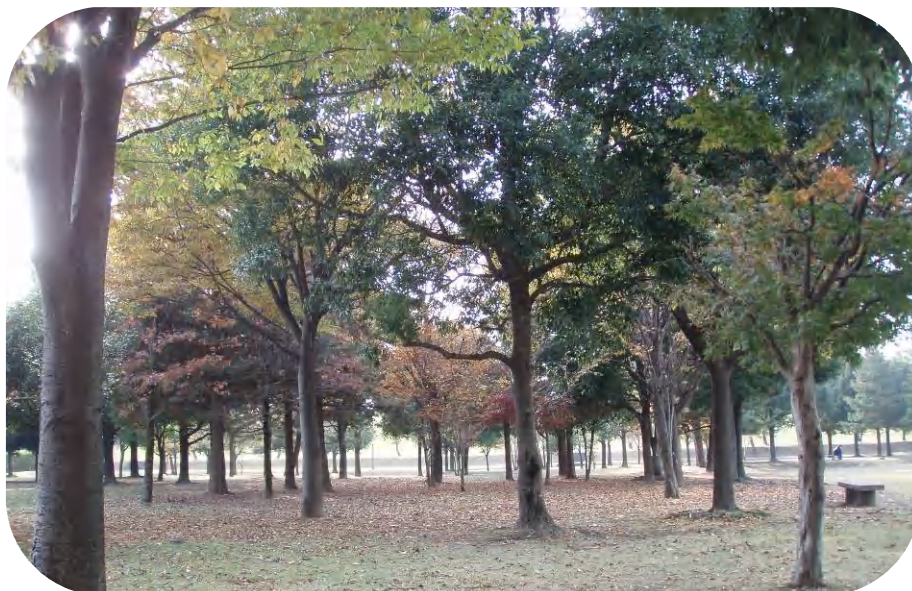
このゾーンにおける修景的施設は、芝生緑地が大半を占めるが、利用者の降雨時の避難及び夏季の日よけ等から緑陰樹を要所に配置し、明るい緑の広場を演出する。

「植栽樹木例」 ケヤキ、サンゴジュ、クスノキ、スダジイ、アラガシ等

### 3 ふるさとの森ゾーン

多目的広場、遊具広場ゾーン及び運動施設ゾーンの外周を基本に100年先を見据えた森づくりを行う。樹木の選定については、地域に植生するものを基本とし、常緑樹、落葉樹の混成の緑あふれる森を作る。また、森の中に散策園路等を配置するとともに下草等も四季折々の草花を用いて、森林浴のできる自然環境を形成する。

ふるさとの森 イメージ



また、ゾーンの中には、メダカ、ドジョウ、フナ等が棲むメダカ池や水生植物を主体とした観察池を整備する。なお、植栽にあたっては、市民ボランティアの協力を求めるものとし、手作りのビオトープをみんなで作ることにする。

ビオトープ イメージ



#### 「植栽樹木例」

ネムノキ、ハンノキ、ヤナギ、クヌギ、クリ、コナラ、タブノキ、モミジ、シラカシ、カツラ、コブシ、サルスベリ、ヤマボウシ、ツバキ、モクゲンジ、アジサイ、サカキ、ツツジ

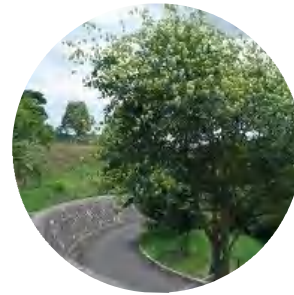
クヌギ



カツラ

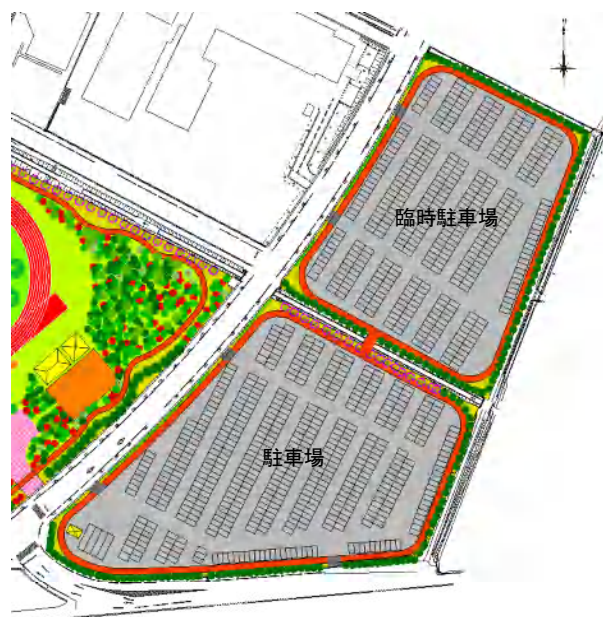


モクゲンジ



#### 4 駐車場ゾーン

都市計画道路下島中野島線東側の2.9haをこの公園の主となる駐車場とする。また、この公園利用のみならず、例年実施される大会・イベントまたは、災害時のヘリポート・物資の運搬基地としての機能も利用できるものとする。なお、駐車場の外周には、延長約900mのランニング・ウォーキングコースを配置するとともに緑あふれる緑地帯も設ける。



##### 1) 駐車場規模の想定

「都市公園利用実態調査」のデータより駐車場の収容台数を算定する。

公園利用可能面積=8.0ha

最大時在園者数(休日)=68人/ha

自家用車利用率=50.3%

一台あたりの乗車人数=2.0人/台 とすると

最大時在園者数 68人/ha × 8ha ≒ 540人

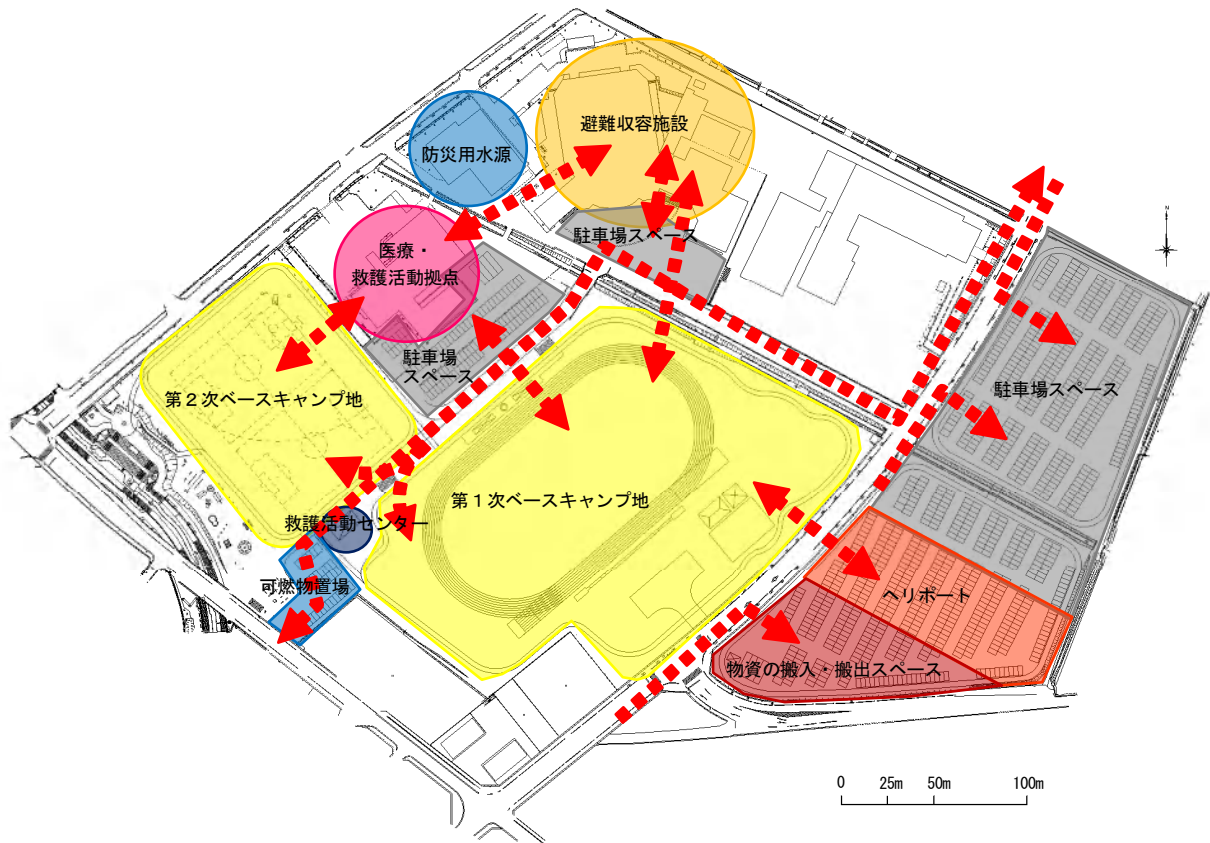
最大時の必要収容台数 540人 × 50.3% ÷ 2.0人/台 ≒ 140台

これに、滞在時間の増加、自家用車利用率の増加、隣接している総合体育センター利用者の車を考慮すると、常時150~250台程度の設定が考えられる。

また、滑川市の各種イベント時の駐車場としても使用する。滑川ほたるいかマラソンでは市外ランナー用駐車場が約1,750台分必要であるが、ゾーン面積から算出した上限である約1,000台分の駐車スペースを整備する。

#### IV-4 防災拠点としての公園計画

第Ⅲ章整備方針に基づき、当公園の災害時の防災機能を以下のようにゾーン毎に設定する。



#### IV-5 整備計画の検討（工程・資金計画）

本計画に基づく滑川市スポーツ・健康の森公園の概ねの整備工程を以下のように設定する。公園の整備にあたっては、8haの大規模な工事となることから年次予算等を考慮し、ゾーンごとを工区分けし、段階的な整備工程とする。

本計画では、工期は、平成23年度から平成25年度の3か年とする。また、単年度における工期については、初年度の平成23年度は第1期と第2期に分けておこない、平成24年度は第3期、平成25年度は第4期工事とする。

財源は、国補助、県補助、スポーツ振興くじ助成金（toto）、寄付、地方債、並びに一般財源を予定している。

ゾーン名	整備内容	1期	2期	3期	4期
		平成23年4月 ～平成23年9月	平成23年10月 ～平成24年3月	平成24年4月 ～平成25年3月	平成25年4月 ～平成26年3月
多目的広場ゾーン 200,000千円	多目的広場				
	子どもげんき広場				
	長寿いきいき広場				
	駐車場				
	ランニング走路				
	休憩施設				
運動施設ゾーン 540,000千円	陸上競技トラック				
	インフィールド				
	クラブハウス				
	ランニング走路				
	エントランス広場				
	休憩施設				
	トイレ				
	器具庫				
駐車場ゾーン 160,000千円	駐車場				
	ランニング走路				
ふるさとの森ゾーン 100,000千円	植栽				
総事業費 1,000,000千円		121,000千円	57,000千円	315,000千円	507,000千円



## IV-6 施設の維持管理

基本コンセプト「みんなで手づくり 健康と体力を育むスポーツ・健康の森公園」にあるように、滑川市スポーツ・健康の森公園は市民の憩いの場、健康・体力づくりの場として整備する施設である。

利用方法及び利用料金等については、近隣類似施設の状況等を参考に検討する。また、施設完成後の維持・管理については、指定管理者制度を活用し、ランニングコストを抑えるよう努める。

なお、整備に際して参加していただいたボランティアの方々については、完成後の維持・管理活動についても継続してご協力いただけるよう「スポーツ・健康の森公園ボランティア組織」を設立し、みんなの施設を自分たちの手で維持管理する、市民参画の場として活動するような組織づくりを予定している。

### 維持管理費内訳（概算）

（年間当たり）

科目	内容	金額
事務経費	受付業務等(人件費)	3,500 千円
光熱費	水道、電気	2,000 千円
保守点検費	機械点検及び修繕等	500 千円
原材料費	樹木支柱及び雪吊り等	1,500 千円
委託料	芝、樹木管理等	10,000 千円
その他	消耗品及び印刷製本	500 千円
合計		18,000 千円

# 滑川市 スポーツ・健康の森公園 基本計画図(案)

◎基本コンセプト  
みんなで手づくり

健康と体力を育む

スポーツ・健康の森公園



**園内街灯及び施設照明**  
防犯上の観点から園内、駐車場に街灯を設置。夜間利用するための施設照明等の設置を検討。

**主園路**  
総合体育センターから公園内へ移動できる園路。

**多目的広場**  
市民ボランティアの芝生植え付けによってつくる芝生広場。児童のサッカー、ソフトボール、ニュースポーツなどが楽しめる。

**日ノ坪公園（整備済）**  
のぞみ川と一体として整備した親水公園。

**子どもげんき広場**  
どろんこ、砂場、築山、複合遊具、ターザンロープなどを設置し、子どもが安全に楽しめる遊び場空間を整備。

**長寿いきいき広場**  
高齢者の体力を維持するための運動遊具を設置。月1回、うんどう教室を開催。

**駐車場**  
約40台が駐車可能。

**クラブハウス**  
ミーティング室、シャワー室、トイレなどを整備。

**陸上競技トラック**  
全天候型舗装の400mトラック、多種目の運動ができるインフィールド緑地広場を整備。

**ランニング・ウォーキング走路**  
公園全体をめぐる約2kmの走路で、利用者の健康と体力の増進を図る。走路沿いに体力づくりのためのサーキットトレーニング器具を設置。

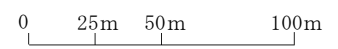
**エントランス広場**  
公園の玄関口となる広場でイベント会場としても使用できる。モニュメントの設置やカラー舗装などにより、明るい雰囲気をつくる。

**土の広場**  
クレー舗装で、ペタンクやゲートボールなどが楽しめる広場。

**臨時駐車場**  
約450台が駐車可能。各種大会、イベント時に活用。

**ふるさとの森**  
市民ボランティアによる手づくりの森。常緑樹、落葉樹混成の森で、散策路やビオトープなどを整備。

**駐車場**  
約550台が駐車可能。



滑川室内温水プール

滑川市総合体育センター

サン・アドリティーズ滑川

富山医療福祉専門学校